



二十歳代表のあいさつ

松下 大哉（三国中卒業）



本日、二十歳のつどいを迎えるにあたり、このような素晴らしい機会を与えていただいたこと、心より感謝申し上げます。まずは、私たちをここまで支えてくださった両親、家族、また、先生方や地域の皆様に深く御礼申し上げます。皆様の温かい支えがあったからこそ、私たちは無事にこの日を迎えることができました。

私が代表のあいさつを依頼された際、何を話すべきかということを考えました。今の時代、インターネット上にてたくさんのテンプレートや ChatGpt を初めとする AI による文章作成など様々な方法が浮かび上がりました。しかし、私はこのような貴重な場において、話すということが重要ではなく、何を伝えるが非常に重要であると考えました。そのため、自分にしか伝えられないような言葉を皆さんにかけたいと思い本日を迎えました。



私は現在、東京にある大学にて、グローバルマーケティングという分野を専攻しており、友人や教授と共に日々勉学に勤しんでいます。また、ただお金を稼ぐという目的だけでなく、自分にとって力になるようなアルバイト・インターンにも努めています。今後も、幅広い視野を持ちながら挑戦し続けたいという風に考えております。

さて、二十歳となられたみなさん、今自分がやりたいこと、夢、目標はありますか？この問に対して、自信を持って答えられる方はどのくらいいらっしゃるでしょうか？自分のやりたい事や夢、目標を持っている方はぜひ諦めずに取り組んで欲しいなと思います。また、まだ夢や目的を持っていない方は、どうしたら良いのかと不安になるのではないのでしょうか？私も実際、自分が何をしたいのかがわからず、充実してないわけではないのですが、淡々とした日々を送っていました。そんな中で私が皆さんに伝えたいことがあります。現在、グローバル化・多様化が進んだことによってたくさんの選択肢が生まれています。そのため、誰もが様々なことに挑戦することができます。今の時代では、良い大学に行って良い企業に就職することだけが必ずしも成功の道とは言い切れ





ません。しかし、この状況は今の若者にとってとても大きなプレッシャーになっているのではないのでしょうか？正解がないからこそ、何をしたら良いのかがわからない。また、目的がはっきりしている人と自分を比べてしまうことで劣等感を感じることも少なくはないんじゃないでしょうか？何でもできるという言葉は、ある意味私たちを苦しめる言葉なのかもしれません。そんな中で私が皆さんに伝えたいことは、「とりあえずやってみる」の精神を持って欲しいなという風に思います。難しいと思っていたことも、挑戦してみると案外できてしまうこともあります。また、インターネットやAIなど今の時代だからこそ活用できるツールによって自分一人じゃ絶対出来ないようなことが簡単に出来てしまう場合もあります。もちろん、この挑戦は失敗するかもしれません。しかし、その失敗の原因を突き止め、改善することで次の成功に活かすことができます。そのため、「とりあえずやってみる」の精神を持って欲しいなというふうに思います。このような小さな挑戦の積み重ねが今後の私たちにとって大きな自信につながると私は考えております。



また、私事ではありますが、この場をお借りして私の両親へ感謝を伝えたいと思います。両親は私がやりたいと言ったことを否定するのではなく、しっかりと受け止めてくれました。特に、お金がかかるようなことについては、両親を説得できるように、プレゼンテーションの機会を設けてくださるなど、今の私が成長したのは両親のおかげです。感謝しても仕切れません。両親をはじめとするこの小郡市で関わったたくさんの人たちに恩返しをすべく、さらなる成長をしていきます。

二十歳という節目の年を迎えることとなった私たちではありますが、まだまだ未熟だと日々痛感しております。これからも一人の大人として胸を張れるように日々精進し、地域や社会に貢献できるよう努力することをここに誓います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

最後になりますが、本日この場にお集まりの皆さまのご多幸と健康をお祈りするとともに、私たちは地域や社会に貢献できるよう、精一杯努力することをここに誓います。

